

# 平成29年度「学校自己点検・評価」結果報告

評価対象学校 岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校  
評価対象学科 トータルビューティー科  
評価対象期間 平成29年4月1日～30年3月31日  
評 価 日 平成30年5月1日

評価者	所 属
鈴木 政信	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
石崎 淳子	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
宮田 具	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
阿部 和文	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
古谷 聖子	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
青木 松美	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
杉本 美季子	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
白石 浩至	岩谷学園 本部・統合事務局

## 1. 学校の教育目標

本学園の建学の精神「わが学園は、教育を通して「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする」を基に、

- ①美と健康と癒しをテーマに、感性とロジックを融合させた教育を展開します
- ②アーティスティックでビジネスマインドをもった美容師、ネイリスト、メイクアップアーティスト、エステティシャンを育成します
- ③職業訓練学校の原点に立ち戻り、就職率を高め同時に就職後の定着率の高い人材育成に努めます

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①働く意識の涵養を目指したビジネス教育の充実と自己啓発の促進
- ②教育ストーリーに沿った楽しい教育の実現と在学生の退学率の低下
- ③早期独立の目指すサロン実習及モデル実習
- ④授業カリキュラムの見直し及び産学連携教育の強化

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

委員の評価

A

### 評 価 項 目

・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか  
(専門分野の特性が明確になっているか)

・学校における職業教育の特色は何か

・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

・学校の理念、目的、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

①課題

- ・業界と連携できる関係を維持し、授業内容にいかに関与させ、その改善に努められるか
- ・職業教育の特徴作り
- ・将来構想の再構築(軌道修正)
- ・職業教育の実践の場の確保・増大

②今後の改善方策

- ・個々の職員が社会動向に目を向け、教育内容について定期的に見直し・提案・検討していく
- ・授業内のシミュレーションを増やし、学生が実践に近い環境で学べるよう工夫する
- ・学生サロン「フェリーチェ」およびエステティックサロン「Beatty Therepy Ai YOKOHAMA」を活用した相互評価の仕組み作り
- ・社会のニーズを満たすカリキュラム(育成する人材像)であるか、見直しを行う

③特記事項

- ・特になし

(2)学校運営

委員の評価

A

評価項目

- ・目的に沿った運営方針が策定されているか
- ・運営方針に沿った事業計画が策定されている
- ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- ・人事、給与に関する規程等は整備されているか
- ・教務、財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

①課題

- ・退学率を下げる努力の継続
- ・就労後の定着率アップのための教育への落とし込み

②今後の改善方策

- ・将来的なキャリアパスや将来像が描けるようなビジョンを明確にしていく
- ・職員に対する継続的な研修を実施できる環境作り

③特記事項

- ・特になし

(3)教育活動

委員の評価

A

評価項目

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明にされているのか
- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか
- ・授業評価の実施・評価体制はあるか
- ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか
- ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか

### ①課題

- ・教員の外部研修参加や自己研鑽に対する計画的な対応
- ・研修に対する教員の意識の向上
- ・変則的な授業形態への対応(平成30年度からのカリキュラム変更による)
- ・インターンシップの実施形態の見直し

### ②今後の改善方策

- ・研修等に参加しやすい環境の提供
- ・教員の自発的な研修参加のための情報提供と意識づけ、実現のための仕組み作り
- ・変則的な授業形態における「もれ」が発生しないよう、教員間のフォロー体制をひく
- ・インターンシップ実施形態変更のための可能性を探り、ニーズに柔軟に対応できるよう検討していく

### ③特記事項

- ・継続した研修の実施や、各職員の自己啓発等、積極的な参加も必要

### (4)学修成果

委員の評価

B

#### 評価項目

- ・就職率の向上が図られているか
- ・資格取得率の向上が図られているか
- ・退学率の低減が図られているか
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ・卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

### ①課題

- ・学生の価値観の変化による、サポート体制の見直し
- ・保護者との連携
- ・卒業生状況の把握
- ・時代に即した「生きる資格」の採択と受験意欲の喚起

## ②今後の改善方策

- ・技術面に加え、メンタル面のサポートの形を模索と教育への落とし込みを行い、退学率の低減および定着率の向上につなげる
- ・学生の状況等、保護者と連携して対応できる機会の創出
- ・校友会との連携による、卒業生の情報収集の実現
- ・卒業生と連携をとれる授業の開発
- ・検定の見直しと受験喚起のための工夫

## ③特記事項

- ・特になし

## (5)学生支援

委員の評価

A

### 評価項目

- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ・学生相談に関する体制は整備されているか
- ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ・学生の生活環境への支援は行われているか
- ・保護者と適切に連携しているか
- ・卒業生への支援体制はあるか
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

## ①課題

- ・卒業生支援の充実
- ・募集対象が広がったことによる受け入れ態勢と教育の整備(新卒と留学生)

②今後の改善方策

- ・卒業生支援の必要性と方策の検討を定期的に行う
- ・環境の異なる学生が入学することによる相乗効果を生み出す工夫と特に就職に向けての支援の見直し

③特記事項

- ・SNSの運用については、個人情報やプライバシー保護に十分に留意する

(6)教育環境

委員の評価

A

評価項目

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ・防災に対する体制は整備されているか

①課題

- ・海外研修の実施
- ・インターンシップ受け入れ先の確保(メイク関係)
- ・Wi-Fi環境の活用事例の提供

②今後の改善方策

- ・研修内容や時期・場所など、実施に向けての再検討
- ・キャリアセンターと連携し、インターンシップ受け入れ先(メイク関係)の新規開拓を行う
- ・Wi-Fi活用事例の研究と検討

③特記事項

- ・特になし

(7)学生の受け入れ募集

委員の評価

A

評価項目

- ・学生募集活動は、適正に行われているか
- ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・学納金は妥当なものとなっているか

①課題

- ・安定した募集活動
- ・教育成果の効果的な伝え方

②今後の改善方策

- ・他部署と連携し、募集活動の強化をおこなう
- ・教育成果を効果的に伝えるためのツールの検討

③特記事項

- ・特になし

(8)財務

委員の評価

A

評価項目

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・財務について会計監査が適正に行われているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

- ・マーケットの新規開拓、定員充足率の安定
- ・入学対象者の人口動態を想定した財務基盤の確保と安定化
- ・学生納付金以外での収入源確保

②今後の改善方策

- ・教員全体のコスト意識の向上
- ・退学者・除籍者を減らし、該当年度の財務基盤を安定化
- ・開業したサロンの維持安定と新たな付帯事業・収益事業の検討

③特記事項

- ・特になし

(9)法令等の遵守

委員の評価

A

評価項目

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか

①課題

- ・特になし

②今後の改善方策

- ・特になし

③特記事項

- ・特になし



(10)社会貢献・地域貢献

委員の評価

A

評価項目

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

①課題

・ボランティア活動や地域貢献の機会の創出

②今後の改善方策

・ボランティア活動に関する情報の収集と提供

③特記事項

・特になし

(11)国際交流

委員の評価

A

評価項目

・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか

・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか

・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか

・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

①課題

・留学生の就労先の確保

・留学生の受け入れ及び管理体制の整備

・留学生対象授業の指導方針の確立

②今後の改善方策

- ・留学生を多く受け入れている学園内の系列校と連携し、情報の収集を行う
- ・キャリアセンターと連携し、留学生の就労先の可能性を探る

③特記事項

- ・特になし

\*委員の評価

各評価項目における委員の評価点(「適切:4」、「ほぼ適切:3」、「やや不適切:2」、「不適切:1」)  
その平均値(小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示)を以下の基準により表示した。

評価	基準
A	4.0~3.6
B	3.5~3.1
C	3.0~2.6
D	2.5以下

## 平成29年度「学校自己点検・評価」 結果報告

評価対象学校 岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校  
 評価対象学科 ビューティースタylist科  
 評価対象期間 平成29年4月1日～30年3月31日  
 評 価 日 平成30年5月1日

評価者	所 属
鈴木 政信	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
石崎 淳子	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
宮田 具	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
阿部 和文	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
古谷 聖子	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
青木 松美	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
杉本 美季子	岩谷学園アーティスティックB横浜美容専門学校
白石 浩至	岩谷学園 本部・統合事務局

### 1. 学校の教育目標

本学園の建学の精神「わが学園は、教育を通して「努力心」「誠実心」「独立心」を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする」を基に、

- ①美と健康と癒しをテーマに、感性とロジックを融合させた教育を展開します
- ②アーティスティックでビジネスマインドをもった美容師、ネイリスト、メイクアップアーティスト、エステティシャンを育成します
- ③職業訓練学校の原点に立ち戻り、就職率を高め同時に就職後の定着率の高い人材育成に努めます

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①働く意識の涵養を目指したビジネス教育の充実と自己啓発の促進
- ②教育ストーリーに沿った楽しい教育の実現と在学生の退学率の低下
- ③早期独立の目指すサロン実習及モデル実習
- ④授業カリキュラムの見直し及び産学連携教育の強化

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

委員の評価

A

#### 評 価 項 目

・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか  
(専門分野の特性が明確になっているか)

・学校における職業教育の特色は何か

・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

・学校の理念、目的、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

①課題

- ・業界と連携できる関係を維持し、授業内容にいかに関与させ、その改善に努められるか
- ・職業教育の特徴作り
- ・将来構想の再構築(軌道修正)
- ・職業教育の実践の場の確保・増大

②今後の改善方策

- ・個々の職員が社会動向に目を向け、教育内容について定期的に見直し・提案・検討していく
- ・授業内のシミュレーションを増やし、学生が実践に近い環境で学べるよう工夫する
- ・社会のニーズを満たすカリキュラム(育成する人材像)であるか、見直しを行う

③特記事項

- ・特になし

(2)学校運営

委員の評価

A

評価項目

- ・目的に沿った運営方針が策定されているか
- ・運営方針に沿った事業計画が策定されている
- ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- ・人事、給与に関する規程等は整備されているか
- ・教務、財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

①課題

- ・退学率を下げる努力の継続
- ・就労後の定着率アップのための教育への落とし込み

②今後の改善方策

・将来的なキャリアパスや将来像が描けるようなビジョンを明確にしていく

③特記事項

・特になし

(3)教育活動

委員の評価

A

評価項目

・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明にされているのか

・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか

・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか

・授業評価の実施・評価体制はあるか

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか

・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか

・職員の能力開発のための研修等が行われているか

①課題

- ・教員の外部研修参加や自己研鑽に対する計画的な対応
- ・研修に対する教員の意識の向上
- ・変則的な授業形態への対応(平成30年度からのカリキュラム変更による)
- ・インターンシップの実施形態の見直し

②今後の改善方策

- ・研修等に参加しやすい環境の提供
- ・教員の自発的な研修参加のための情報提供と意識づけ、実現のための仕組み作り
- ・変則的な授業形態における「もれ」が発生しないよう、教員間のフォロー体制をひく
- ・インターンシップ実施形態変更のための可能性を探り、ニーズに柔軟に対応できるよう検討していく

③特記事項

- ・継続した研修の実施や、各職員の自己啓発等、積極的な参加も必要

(4)学修成果

委員の評価

B

評価項目

- ・就職率の向上が図られているか
- ・資格取得率の向上が図られているか
- ・退学率の低減が図られているか
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ・卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

①課題

- ・学生の価値観の変化による、サポート体制の見直し
- ・卒業生状況の把握
- ・時代に即した「生きる資格」の採択と受験意欲の喚起

②今後の改善方策

- ・技術面に加え、メンタル面のサポートの形を模索と教育への落とし込みを行い、退学率の低減および定着率の向上につなげる
- ・校友会との連携による、卒業生の情報収集の実現
- ・卒業生と連携をとれる授業の開発
- ・検定の見直しと受験喚起のための工夫

③特記事項

- ・特になし

(5)学生支援

委員の評価

A

評価項目

- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ・学生相談に関する体制は整備されているか
- ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ・学生の生活環境への支援は行われているか
- ・保護者と適切に連携しているか
- ・卒業生への支援体制はあるか
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

①課題

- ・卒業生支援の充実
- ・募集対象が広がったことによる受け入れ態勢と教育の整備(新卒と職業訓練生)

②今後の改善方策

- ・卒業生支援の必要性と方策の検討を定期的に行う(SNSの運用については、個人情報やプライバシー保護に十分に留意する)
- ・環境の異なる学生が入学することによる相乗効果を生み出す工夫と特に就職に向けての支援の見直し

③特記事項

- ・特になし

(6)教育環境

委員の評価

A

評価項目

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ・防災に対する体制は整備されているか

①課題

- ・海外研修の実施
- ・インターンシップ受け入れ先の確保(メイク関係)
- ・Wi-Fi環境の活用事例の提供

②今後の改善方策

- ・研修内容や時期・場所など、実施に向けての再検討
- ・キャリアセンターと連携し、インターンシップ受け入れ先(メイク関係)の新規開拓を行う
- ・Wi-Fi活用事例の研究と検討

③特記事項

- ・特になし



(7)学生の受け入れ募集

委員の評価

A

評価項目

- ・学生募集活動は、適正に行われているか
- ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・学納金は妥当なものとなっているか

①課題

- ・安定した募集活動
- ・教育成果の効果的な伝え方

②今後の改善方策

- ・他部署と連携し、募集活動の強化をおこなう
- ・教育成果を効果的に伝えるためのツールの検討

③特記事項

- ・特になし

(8)財務

委員の評価

A

評価項目

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・財務について会計監査が適正に行われているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

- ・マーケットの新規開拓、定員充足率の安定
- ・入学対象者の人口動態を想定した財務基盤の確保と安定化
- ・学生納付金以外での収入源確保

②今後の改善方策

- ・教員全体のコスト意識の向上
- ・退学者・除籍者を減らし、該当年度の財務基盤を安定化
- ・開業したサロンの維持安定と新たな付帯事業・収益事業の検討

③特記事項

- ・特になし

(9)法令等の遵守

委員の評価

A

評価項目

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか

①課題

- ・特になし

②今後の改善方策

- ・特になし

③特記事項

- ・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

委員の評価

A

評価項目

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

①課題

・ボランティア活動や地域貢献の機会の創出

②今後の改善方策

・ボランティア活動に関する情報の収集と提供

③特記事項

・特になし

(11)国際交流

委員の評価

C

評価項目

・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか

・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか

・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか

・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

①課題

・留学生の就労先の確保

・留学生の受け入れ及び管理体制の整備

## ②今後の改善方策

- ・留学生を多く受け入れている学園内の系列校と連携し、情報の収集を行う
- ・キャリアセンターと連携し、留学生の就労先の可能性を探る

## ③特記事項

- ・特になし

## \*委員の評価

各評価項目における委員の評価点(「適切:4」、「ほぼ適切:3」、「やや不適切:2」、「不適切:1」)  
その平均値(小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示)を以下の基準により表示した。

評価	基準
A	4.0~3.6
B	3.5~3.1
C	3.0~2.6
D	2.5以下